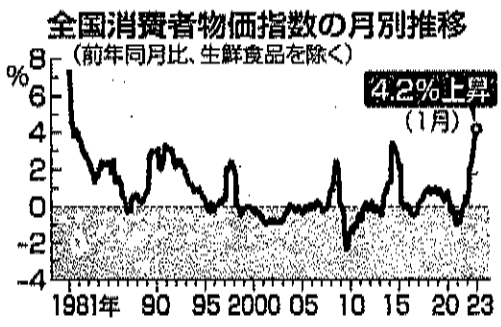


消費者物価 4.2%上昇

1月41年4カ月ぶり高い伸び

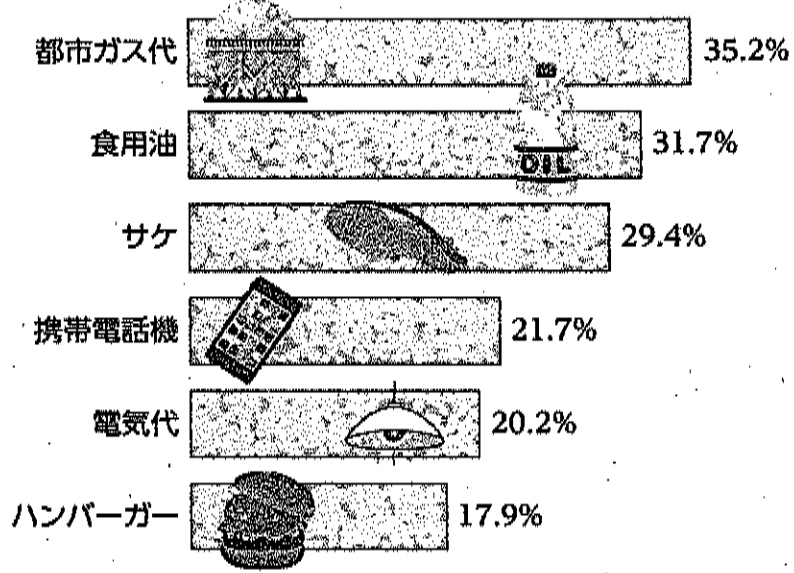
総務省が24日発表した1月の全国消費者物価指数(2020年=100)は、価格変動の大きい生鮮食品を除く総合指数が104.3と、前年同月比4.2%上昇しました。1981年9月(4.2%)に並



ぶ41年4カ月ぶりの高い伸びとなりました。上昇は17食料品とエネルギーの値

カ目連続となります。食料品とエネルギーの値

前年同月に比べ値上げの目立つ品目



上がり物価全体を押し上げる構図が続きました。具体的には生鮮食品を除く食料が7.4%上昇しました。食料の調査対象品目の9割が高くなりました。電気代は20.2%、都市ガス代は35.2%上昇しました。

観光需要喚起策「全国旅行支援」の割引率が1月から縮小された影響で、宿泊料の値下がり幅が小さくなったことも物価の押し上げ要因となりました。

生活実感に近い生鮮食品を含む総合指数は4.3%上昇。生鮮食品とエネルギーを除く総合指数も3.2%上がりました。

2月以降の物価上昇率は、政府による電気・ガスの負担軽減策の効果で1月と比べ1.0%程度下落する可能性があります。ただ、食料品では冷凍食品や調味料などの値上げが続く予定で、食料品の上昇幅は拡大しそうです。